

この学部でしか学べないことがある

神道文化学部



もっと日本を。もっと世界へ。



神社実習生として学びました



坪山 奈央さん

神道文化学部 4年 奉職内定



私は北海道の出身です。父が地元の神社で奉務しております。神職を目指そうと決めたのは、三姉妹の長女ということもありますが、進路を決める高校生の頃、氏子さんからいただいた「お姉ちゃんが神主をやってくれるんでしょう」というお声かけが、私の背中を押してくれました。

「地元の方々のご期待にこたえよう、お宮のご奉仕を受け継ごう…」

そう決意して、神道文化学部の夜間主に入學しました。何分、親元を離れての初めての東京です。当初は経済的な不安もありましたが、大学の充実した奨学金制度の恩恵をいただき、学びに動むことができました。

学費を補うためもあって、2年次まで府中市の大国魂神社で神社実習生としてご奉仕をさせていただきました。実習と学業の両立は大変だと感じることも少なくありませんでしたが、自身がご社頭に立つことで、大勢の崇敬者・参拝者の方々に触れあうことができました。

たくさんのお会い、たくさんのお付きががありました。良い経験をさせていただいたことを、心より感謝しております。

学部では、「学内」で神道に関する知識や作法についてじっくり学べることはもちろんですが、こうした「学外」での神社実習、助勤奉仕等の活動でも、実に多くのことを吸収することができたと思います。



この学部には、同じ目標を抱く学友たちが多数在籍しています。社家であるなしに関わらず、4年間で数多くの友人ができました。ともすれば不安を抱え込みがちな学生生活で、何でも相談できて、お互いに助け合える友人たちは、かけがえのない存在でした。

地元には、社家が一軒しかなく、これまで同じような境遇の子に出会ったことはありませんでした。学部には、同じ境遇で、同じ目標を持って頑張っている子がたくさんいて、なんでも相談できますし、とても大きな支えになっています。学友たちとのご縁は、これから生涯にわたって続いていくことと思います。

4年間は長いようで本当にあっという間でした。顧みれば、多くの方々の支えと協力によって、学業と実習とに励み、得難い経験を積むことができました。先般、おかげさまで首都圏の由緒のあるお宮より奉職内定を頂戴いたしました。これからも感謝の気持ちを忘れず、ご奉仕に努めて参りたいと願っております。



富士 駿さん

神道文化学部 4年 奉職内定



私は一般家庭の出身ですが、先祖が神職を務めていました。
「自分のルーツである神道を深く学びたい…」
そんな思いから、神道文化学部のフレックスA(夜間主)に現役入学しました。

大学生生活を始めるに際して、3つの目標を立てました。

1つ目は、自分で学費をまかなうことでした。入学前は、経済的な事情から、大学進学を諦めかけたこともありましたが、そんな私でも、大学の奨学金制度のご支援、日中のアルバイトの稼ぎで、4年間の学費をすべて自分で納めることが出来ました。本学の奨学金は、一般的な奨学金とは異なり、完全給付型です。安心して受給することができました。

2つ目は、教員免許を取得することでした。教員免許と神職免許の二つを平行して履修できることも、この学部の強みです。教師を兼業する先輩神職が多いことも励みになりました。

4年次の教育実習では、鎮守の森で学んだ「自然との共生」プログラムを授業の中に取り入れました。生徒たちはとても熱心に取り組んでくれました。

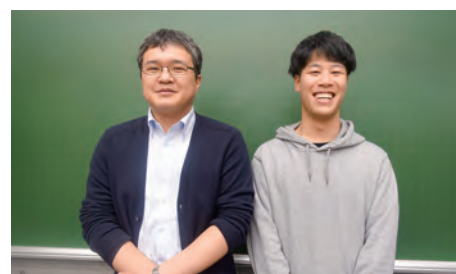


最後の目標は、臆することなく様々なことにチャレンジすることでした。夜間主だったので、授業の無い日中は、人を笑顔にする助動やアルバイトに励み、自らのコミュニケーション力を磨きました。課外活動では、少林寺拳法部の主将を務め、人を纏めることの難しさ、楽しさを知ることが出来ました。神職必須の雅楽は、大学主催の講習会や雅楽サークルで学びました。大好きな楽器は笙です。今でも欠かさず稽古を続けています。

夜間主には「志」ある学生がたくさん学んでいます。共に神職を目指す者同志として、お互い助け合って前へ進むことができました。

先生方の親身なご指導、神道研修事務課をはじめ大学事務局の手厚いサポートも、只々感謝のほかはありません。おかげさまで先般、奉職が内定いたしました。神社界の力になれるよう、精一杯努力して参る所存です。

夜間主で目標達成！



國學院大學の奨学金制度

1年次は
全員支給

神道・宗教
特別選考新入生対象

返済不要

神職子女奨学金 ……[1年次生] 自宅外通学者40万円／自宅通学者20万円支給(全員)
……[2年次以上] 自宅外・自宅通学者ともに10万円支給(学業成績の上位20名以内)

詳しくは本学ホームページ「入試情報に関するお知らせ」でご案内します。 <http://www.kokugakuin.ac.jp/admission/nyugaku0300166.html>

夜間主学生対象

返済不要

國學院大學フレックス特別給付奨学金 ……400,000円

神社界からの奨学金

神社本庁育英奨学金 ……30万円支給(2年生以上) 返済不要 ※条件あり

伏見稲荷大社奨学金 ……24万円支給 返済不要

全国敬神婦人連合会育英奨学金 ……15万円支給(女子学生のみ、2年生以上) 返済不要



たくさんのことを学んだ4年間



山本 結佳里さん

神道文化学部 4年 奉職内定



幼い頃から、祖父の奉仕する神社でお手伝いしてきました。中学時代からは、巫女として、また舞姫として、ご奉仕を続けました。「将来も、ぜひ神社に携わっていきたい…」。そんな思いから、神道文化学部への入学を決めたのです。

入学後は、新鮮な学びが待っていました。古典、祭式、歴史、考古学、雅楽や舞…神道文化学部では、神社界や学会で権威と仰がれる先生方から直接のご指導をいただけます。望み得る最高の環境で、学友たちと切磋琢磨することができました。

神社での実習では、神職としての立ち居振る舞いや心構えが、しっかりと身に付きました。御社頭での助勤では、ご参拝の皆様方と、親しく交流することができました。



最も思い出深いのは、大学行事の観月祭です。4年次、半年間のお稽古を経て、ようやく晴れの舞台に立つことができました。本番前、装束の重みとプレッシャーが、ずしりと全身にのしかかりました。緊張で頭の中が真っ白になってしまいました。



舞台上上がる際、懸命にこう念じました。

「一度しかないこの時を楽しもう、自分に出来得限りの祈りを込めよう…」

すべてが終わったあと、先生方や仲間たちから、口々に労いとお褒めの言葉をいただきました。観月祭に参加出来て、本当に良かったと思った瞬間でした。

裏方の皆さんのお力添えなしに、私たちのあの舞いは、到底あり得なかったでしょう。

顧みれば、本当にたくさんのことを学び、経験した4年間でした。

この4年間で学んだこと、心に刻んだことを、奉職先でしっかりと活かしていきたい…そう心から願っております。



神光 輝紀さん

神道文化学部 3年



「将来、神職となって、神社で御奉仕したい…」そんな思いから、神道文化学部に入学しました。

「この学部に入って、本当によかった…」

これまでの学生生活を振り返って、そう心から感じています。

先生方は、授業時はもちろんのこと、それ以外の時間でも、いつも優しくお声がけくださり、親身にアドバイスしてくださいます。

また職員の方々も、生徒が勉学に専心できるよう、手厚くサポートしてくださいます。「学生ファースト」の行き届いた環境に、日々感謝しております。

全国各地から集まった学友たちとの触れ合いも、大学生活のかけがえのない彩りです。本学随一「全国区学部」ならではの、素晴らしい賜物だと思っています。



2年次の授業で、笹生衛先生から考古資料を基に古代祭祀を考えていく面白さを教わりました。3年次からの基幹演習では、笹生衛先生のゼミを選びました。ゼミは少人数制で、疑問に思ったことはすぐ先生に質問することができます。ゼミの学びを通して、学業に対する前向きな姿勢を養うことが出来たと実感しております。

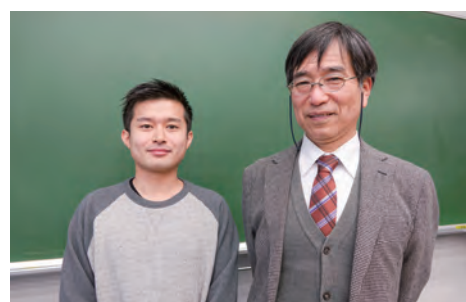


本学では、毎年10月に「観月祭」というとても大きな行事があります。そこでは、学友たちと共に、日頃の稽古の成果を、大勢の方々の前で披露します。本年度の観月祭で、私は「朝日舞」を舞いました。あのように大勢の方々の前で舞う経験ははじめてのことでした。とても緊張しましたが、舞い終えたあとの達成感もまたひとしおでした。この学部でなければあり得ない、素晴らしい経験でした。

大学生活の一瞬一瞬が、将来の自分の糧となるような、かけがえのない経験となっている…日々そう感じています。

志願者の皆さん。この素晴らしい学部で、生涯の「感動体験」を共有しましょう！

生涯の「感動体験」を！





学部での経験が、就職活動の武器になりました



荒木 美久さん

神道文化学部 4年 銀行内定



地元のお宮で、祖父が神職を務めています。
「幼い頃から親しんできた神道を、もっと深く学びたい…」。
そう思って、神道文化学部への入学を決めました。

学生生活で思い出深いのは、神社での実習です。3年次、京都の下賀茂神社で、仲間たちと過ごした一週間は、とりわけ忘れ難い経験となりました。

3年次以降のゼミでは、大好きな『古事記』を研究テーマに選びました。榊田比売、八上比売、須勢理毘売…。『古事記』で活躍する女神たちを巡って、自分なりの考察を深めることができました。



4年次からはいよいよ就職活動本番。お宮のことを考え、地元での就職を目指しました。SPI試験を経て、まず集団面接、ついで個別面接に進みました。面接では「説明力」「対話力」が試みられます。神道文化学部の学生は、神社の助勤で、様々な世代と直接に接する機会に恵まれています。そこで養った「コミュニケーション力」が、大いに役立ちました。

面接では、こんな質問をいただきました。「大学で、あなたは何を学び、何を身に付けたのですか？具体的に説明してください。」

神道について、神社について、祭式作法について、日本の神々について、自らの学びと実地経験に即して答えることができました。学部ならではのユニークな学びと経験は、就職活動の大きなアピールになったと思います。おかげさまで、地元の銀行から、就職内定をいただくことができました。



神道文化学部は、ひとことで言って、とても楽しい学部です。その楽しさは、首都圏に偏ることなく、全国各地から様々な学生が集まっていることから来ています。それぞれの「お国ぶり」を体現するかのような友人たちとのおつき合いを、日々エンジョイすることができました。

ここならではの経験が積める日本でただ一つの学部。全国から集まった個性的なクラスメイトと縁を結べる学部。この学部ならではのアドバンテージを、ぜひ活かしましょう。きっと様々な道を開けてくれると思いますよ。



山科 能之介さん

神道文化学部 4年 山鹿市消防本部内定



私は熊本県の出身です。幼い頃から祖父や父を手伝ってきました。いつしか自分も神職になり、神社をつないでいきたいと思うようになりました。大学進学に際しては、迷うことなく神道文化学部への進学を決めました。



私は幼い頃から剣道を習っていました。高校の部活でも剣道部一筋でした。当初、私は親と同じ夜間主に入社しようと思っていましたが、両親は、大学で剣道を続けたいという私の思いを受け止めて、学費面で負担が少ない昼間主への入学をあと押ししてくれたのです。両親には、只々感謝しかありません。



いよいよ4年次。私は神社奉職ではなく、地元消防署の消防士を目指しました。公務員の傍ら、祖父や父と共に、代々の神社に奉仕する「兼業神職」の道を選んだのです。その選抜試験は、まことに苛酷を極めたものでしたが、神道文化学部で培った学力、部活で育んだ体力が、大きな力となりました。念願の合格は、学部で学び、部活で鍛えた4年間があってこそのものだと実感しています。

卒業後の目標は、次の二つです。

(1)消防士として、地域の安心安全を守り、地域に貢献していくこと。

(2)神職として、氏子の方と一致協力して氏神様にお仕えしていくこと。

自らの目標達成を目指し、これからも日々精進していきたいと願っております。

学部で学び、部活で鍛えた4年間があってこそその就職内定！





素敵な学部に進んで良かったと心から思っています



國學院大學に入学して、約1年が経ちました。書きながら、私自身も驚いています。「光陰矢の如し」とはまさにこの事。先日入学式を終えたばかりだと思っていたのですが…。

前期は、初めての履修登録や講義、課題や試験など目の前のことで手一杯だったことを思い出します。私は、地元で巫女としてご奉仕をしていたことがきっかけで神道に興味を持ちました。大学では、『古事記』を読み解いたり、神社の造りについて学んだりと感じられる講義ばかりです。

後期は観月祭や成人加冠式など、様々な行事に参加させていただいたのが心に残っています。入学前から知っていたものの、自らが携わることで、より一層大きな感動がありました。

観月祭では、雅楽の演奏や神楽舞など、ほぼ全てを学生主体で作り上げていることにも驚きました。もちろん支えてくださる先生方はいらっしゃいますが、合同稽古や自主稽古など、学生自らが算段をして進行していきます。その結果、観月祭に関わる全ての学生に責任感や使命感が生まれ、素晴らしいものが出来上がるのだと感じました。

成人加冠式では、新成人として参加させていただきました。美しい装束を着て参列するのは入学前からの夢だったので、実現して本当に嬉しかったです。一生に一度の成人式を大学で迎え、多数の仲間や先輩、先生方に祝っていただいたことは人生の中でも大切な思い出になりました。

こうした学部行事で、先輩方と一緒に過ごす機会が多かったのも、自身の成長の為に貴重な経験だったと思います。ふとした瞬間の何気ない会話で嬉しくなったり、安心したり。言葉の持つ力や、大切さを実感しました。

入学して以来、先生方や友達、先輩など、たくさんの方とのご縁がありました。人との繋がりは、私にとって何ものにも代え難い大切なものです。今、神道文化学部という素敵な学部に進んで良かったと心から思っています。

廣田 万奈さん

神道文化学部 1年

令和3年度 総合型選抜、専攻科、別科入試日程

※時節柄日程変更の可能性もあります。國學院大學ホームページをご覧ください。

入試制度	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表	入学手続期間(消印有効)
神道・宗教特別選考(Ⅰ期) 「神社本庁包括下の神社」及び「神道系教団」の後継者を対象とした入試です。	9/23(水)～9/30(水)	1次：書類選考 2次：10/25(日)	1次：10/14(水) 2次：11/4(水)	11/5(木)～11/12(木)
神職養成機関(普通課程)特別選考	9/23(水)～9/30(水)	10/25(日)	11/4(水)	11/5(木)～11/12(木)
公募型自己推薦(AO型) 「神道文化学部でぜひとも神道文化・宗教文化を学びたい」という強い意欲を抱く志願者を選抜します。	10/5(月)～10/9(金)	1次：書類選考 2次：11/15(日)	1次：10/29(木) 2次：11/25(水)	11/26(木)～12/3(木)
神道学専攻科 4年制大学を卒業した神職子女が、1年間で神職資格(明照検定合格、正應授与)取得を目指す課程です。	11/2(月)～11/6(金)	11/29(日)	12/9(水)	12/10(木)～12/17(木)
神道・宗教特別選考(Ⅱ期)[夜間主] 「神社本庁包括下の神社」及び「神道系教団」の後継者を対象とした入試です。	2/5(金)～2/15(月)	1次：書類選考 2次：3/2(火)	1次：2/24(水) 2次：3/11(木)	3/12(金)～3/18(木)
別科神道専修Ⅰ類・Ⅱ類 高等学校の卒業生が、神職資格を目指す課程です。	2/5(金)～2/15(月)	3/2(火)	3/11(木)	3/12(金)～3/18(木)

※出願資格や「入学試験要項」など詳しい入試の情報については、國學院大學ホームページをご覧ください。本学入学課(電話03-5466-0141)へお問い合わせください。志願される方はお早めに「入学試験要項」をご入手ください。

説明会

神道・宗教特別選考を志望する方々へ——入試説明会のお知らせ

※時節柄日程変更の可能性もあります。國學院大學ホームページをご覧ください。

本学では、(1)神社本庁所属神社の神職、またその家計の子女で、継承者となる方々もしくは、(2)神道系教団団体所属者の子女で、将来、後継者となる方々を対象にして、「神道・宗教特別選考」という入試制度を設けています。この入試に関する説明会を、渋谷キャンパスのオープンキャンパスで実施します。日程は、右記のとおりです。「神道・宗教特別選考」を希望される方は、ぜひご参加ください。

6/7(日)、8/22(土)

オープンキャンパス(渋谷キャンパス) 6月7日(日)／8月22日(土)／23日(日)／9月20日(日)

※学年は取材時のものです。